

研究・調査報告書

報告書番号	担当
3 3 6	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Health-related effects of genetic variations of alcohol-metabolizing enzymes in African Americans. アフリカ系アメリカ人のアルコール代謝に関する遺伝的多型が健康に与える要因	
執筆者	
Scott DM, Taylor RE.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol Res Health. 2007;30(1):18-21. Review.	
キーワード	
アルコール、乱用、依存、飲酒行動、アフリカ系アメリカ人、アルコール代謝、遺伝多型、ADH、ADH 1B、ADH 1B*3、ALDH、ALDH 1A1*2、ALDH 1A1*3	
要 旨	
<p>アルコールの代謝には2つの重要な酵素がある、即ちアルコール脱水素酵素(ADH)とアルデヒドデヒド脱水素酵素(ALDH)である。ADHとALDHにはいくつかの種類があり、それぞれいくつかの変異があり、それぞれアルコールの分解・代謝能が違ふ。変異遺伝子にエンコードされた様々なアイソフォームが存在し、民族によって分布が異なる。</p> <p>ADHの変異にいくつかの対立遺伝子にエンコードされたADH 1Bがある。ADH 1B*3という対立遺伝子はアフリカ系の人やいくつかのアメリカ先住民族に特徴的である。この対立遺伝子はアルコールの素早い分解に関連しており、アセトアルデヒドの一時的な蓄積をもたらす。この対立遺伝子を持つアフリカ系アメリカ人はアルコール依存の家族歴を持つことが少なく、アルコールを求めるための行動も少ない。さらに、この対立遺伝子を持つ母の子はアルコールに関連する疾患に強い。</p> <p>ALDH 1酵素もまたいくつかの対立遺伝子にエンコードされている。アフリカ系アメリカ人にみられる2つの対立遺伝子ALDH 1A1*2 と ALDH 1A1*3はアルコール依存症のリスクを減らすかも知れない。</p>	